

○事業所名	BEAR KIDS		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 2日	～	2024年 12月 16日
○従業者評価実施期間	2025年 1月 20日	～	2025年 1月 27日
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	遊びを通した発達支援の充実	未就学児の興味関心に合わせた遊びを通して、楽しみながら発達を促す支援を実施。手指の巧緻性・言語のやりとり・体の動かし方など、領域ごとの課題に対応した活動を提供している。	各活動の目的やねらいをより明確にし、個々の成長につながったポイントを記録・振り返ることで、支援の質向上につなげる。保護者にも支援内容と意図を伝える工夫を取り入れる。
2	安心して過ごせる環境と関係づくり	子ども一人ひとりの不安や特性に寄り添い、予測可能なスケジュール提示や視覚支援などを取り入れている。慣れた職員との関わりを通じて、信頼関係を築きながら安心して過ごせる環境を整えている。	未就学児の「見通し」や「理解」のしやすさを高めるため、個々の特性に応じた視覚支援のパターンを増やし、活動前後の予告・振り返りのルーチンを構築していく。
3	保護者との密な連携と家庭支援の実践	送迎時の対話や連絡帳を通じて日々の様子を丁寧に共有し、保護者の不安や悩みに寄り添っている。面談やフィードバックの機会を設けることで、家庭と協働した支援を実現している。	園での様子・医療的見立てなども含めた情報を保護者と双方向にやりとりし、支援方針をすり合わせる場を定期的に設ける。保護者支援の視点も含めたサポート体制の構築を進める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在の人員体制や運営時間の制約により、長時間の支援ニーズに十分応えきれていない状況がある	現状の運営方針（標準的な放課後利用を前提）と保護者のニーズ（長時間預かり希望）との間にギャップがあるため	長時間支援を希望する保護者には、他の長時間対応型児童発達支援・放課後等デイサービスと連携し、適切な施設を紹介できる体制を整える。あわせて、自事業所内の支援拡充についても検討を続ける
2			
3			